

新入職員・記録に少し苦手意識がある方向けの

記録の意義と記載のポイント

【講義・演習】

▽日時／2026 年 5 月 20 日(水) 10:00～16:00

(受付 09:30～)

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室

(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／24 名(先着順 定員に達し次第締切)

▽受講資格／市内福祉施設:事業所勤務の方で、

新任の方または経験の浅い方 / 記録の改善をお考えの方

▽受講料／無料

▽申込方法／受講申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX・メールにてお申し込みください。

HP からも申し込み可能です。

研修のねらい

介護職として、「記録」の重要性は誰しも認めるところだと思います。一方、その重要であるはずの記録の「書き方」となると、きっちり学んだことがあるという方はどれだけいらっしゃるでしょうか。

福祉・介護の現場で働く方々としては、何をどう書いたらいいのかを学ぶ必要がありますし、その意義を再確認することはとても重要です。正しい記録を正しく分析することで、良いアセスメントにもつながります。

今回の研修では、主に初任者の方を対象に「記録の意味と意義・書き方のポイント」についてわかりやすく解説していきます。記録には何が必要なのか、情報共有のポイントは何か、活動を正しく「文字化」「言語化」するためにはどうしたらよいかについて演習を通じて体験していただきます。

※記載事例は高齢者介護の設定となります。ご了承ください。

プログラム(予定)

1. 「介護記録」には何を書くのか？その意味は？
2. 利用者のアセスメントに必須なエピソード記録の書き方
3. 【演習】 良い記録・よろしくない(情報開示に耐えられない)記録
4. 【演習】 どこに焦点をあてて記載をするか
5. 質疑応答

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センターHP <https://chiba-shakyo.jp/learning/seminar/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村

メール yamamura-t@chiba-shakyo.jp